



学校便り

No. 1

夢・挑戦

令和元年6月8日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

令和元年がスタート

令和元年度が、189人の生徒と24人の先生によりスタートしました。入学式等で、以下の3つのことを生徒に話しました。

一つ目は、コミュニケーション能力を身に付けることです。これからの時代は、インターネットや人工知能（AI）など、さらに進化します。社会がどんなに便利になっても、誰とでも人間関係を上手に築ける人が求められています。友達や先生方、そして地域の方に、直接、自分から積極的に挨拶をしたり、話しかけたりしてください。

二つ目は、夢や目標に向かって挑戦することです。勉強や部活動、趣味・特技などで、夢や目標が決まったら、



実際に行動に移し、体を動かし、汗を流し、失敗しても諦めず地道に努力を続けてください。一日一日を積み重ねることで、夢や目標を実現できると思います。先日、引退したイチロー選手も、「小さいことを重ねることが、大きなところへ行くただ一つの道である」と語っています。

三つ目は、学校は、多くの人が集団で生活します。お互いが楽しく過ごすためには、「あいさつ・返事・言葉遣い」そして、「時間を守る、ルールを守る、約束を守る」ことが大切であり、社会人としての基本でもあります。中学生になると、いろいろなことに興味や関心が生まれますが、スポーツと一緒に、ルールや決められた時間の中で楽しんでください。



以上が実行できると、「学校が楽しく」「教室が楽しく」「授業が楽しく」なり、学校生活が充実すると思います。

以上が実行できると、「学校が楽しく」「教室が楽しく」「授業が楽しく」なり、学校生活が充実すると思います。

心の絆を深める月間・いじめ根絶月間

6月は、心の絆を深める月間であり、いじめ根絶月間でもあります。



昨年9月に亡くなられた女優の樹木希林さんは、いじめについて、「みんな同じロボットならいじめは起きないかもしれないけれど、考え方も意見も同じで話し合いにならない」と書いておられます。同じロボットは、いじめもケンカもしません。

しかし、人間は十人十色と言われるように好み、考え方、性格など、人それぞれ異なります。人間は、同じような人ばかりでなく、それぞれ差や個性があるからいいと思います。差別という言葉は、「差で別ける」と書きます。予断や偏見で差をつけるのではなく、差や個性を尊重できる人になってほしいです。

最後に、いじめや人間関係等で、悩んだり困ったりしている人がいるのではないかと心配しています。悪口や嫌がらせ等で困っている人や悩んでいる人、そして、友達のいじめや差別に気づいている人がいたら、勇気をだして友達や先生、家族の方に相談してください。もし、自分がされていやなことを友達にしている人がいたら、今すぐやめてください。相手は悩み、苦しみ、とてもストレスがかかり、時には命に関わることもあります。「遊び半分だった」は通用しません。

以前、担任した生徒に、X JAPANのHIDEが好きで、そのグループの派手な外見やパフォーマンスが嫌いでした。数年前、そのグループが紅白歌合戦に再結成して出場したり、映画化になったりして関心を持つようになりました。ボーカルのToshiの歌声やYOSHIKIのドラム・ピアノの演奏などにとっても感動しました。外見だけで判断せず、音楽を聴きけばよかったと反省し後悔しています。

ところで、その生徒は卒業式後に自分の小遣いで野球シャツを記念にくれました。大人になって一緒にお酒を飲むのを楽しみにしていましたが、残念ながら今は天国にいます。当時を思い出し、涙があふれそうになります。